

◆ 第8回景観審議会の主な意見

1 北口駅前広場及び周辺における今後の景観づくり

- ① 北口駅前広場は災害時に防災拠点として活用する視点も必要（簡易トイレ等）。

【上田委員、岸委員】

- ② 区画整理区域内外での駐輪対策が必要ではないか。【岸委員、森田委員】

- ③ 駅前広場周辺道路及び歩道整備路線の無電柱化など、狭い空間を広く見せる工夫が必要と考える。【岸委員、森田会長】

南口は駅前広場にでた時のゆったり感や開放感が不足している。屋根などの施設があることも一要因かもしれない。【森田会長】

- ④ 「和光らしい」建物の色合いの誘導等が必要ではないか。

ー「理研・ホンダとのタイアップ」【森田会長】

ー 和光市の色は わこうっち＝緑【上田委員】

- ⑤ 北口は南口とは違う雰囲気があれば良い。例えば、湧水の水と緑を活用することが考えられる。【岸委員】

花のアーケードやバラでつくった待ち合わせポイント、シンボルがあると待ち合わせがしやすくなる。【上田委員】

和光のイメージは花と緑。イチョウ以外の新たな緑・花の要素を見つけられないか。例えば、理研では黄色い桜を開発した。【金子副会長】

市民が自由に使える広場・空間があれば、市民から様々な活用アイデアがでるだろう。【上田委員】

- ⑥ 南口駅前広場は広いが車中心のイメージ。北口駅前広場は歩行者にやさしい街並み、車椅子やベビーカーが移動しやすい駅前を望む。【上田委員】

- ⑦ 駅ビル及び駅周辺施設の最上階に眺望スポットが確保できると良い。【森田会長】

2 下新倉小学校周辺における道路環境整備

- ① 景観の視点からは「速度規制・徐行」の看板よりもグリーンベルトや交差点周辺の道路にウサギやカメの絵などを埋め込むのが良い。【森田会長】

心理面にうったえる「おじちゃん止まって」等のやさしい表現が良い。【阪委員】

歩道路面に足跡をつけるなど、子供の歩行を誘導することも有効。【上田委員】

- ② 景観的視点から交差点の安全対策ができないか。例えば、交差点部の高いブロック塀を視線がとおるフェンスや低木に誘導（助成）することが考えられる。【金子副会長】

- ③ 平成28年度に下新倉小学校周辺の視察を実施する。